先端 機能性材料と高分子に関する国際フォーラム (AFMP2015) に 参加して[†]

日 下 一 也^{*}

Report on "International Forum on Advanced Functional Materials and Polymer Materials"

by

Kazuya KUSAKA^{*}

2015年5月30日に中国山東省青島市のSheraton Jiaozhou Hotelにおいて先端機能材料と高分子材料に関する国際フォーラム International Forum on Advanced Functional Materials and Polymer Materials (AFMP2015) が開催された。本国際フォーラムは、西安交通大学、徳島大学、台湾科学技術大学が中心となり企画された。先端機能材料、機械材料、物理・化学材料、高分子材料、その他関連材料に関するトピックを幅広く取り扱っており、先端的な研究から応用分野までの様々な分野の研究者が発表を行い、様々な観点から討論が行われた。参加者は全部で60名であり、日本からの出席者は徳島大学以外に日清紡株式会社や株式会社SHINの参加があった。

29日の早朝6時前、徳島駅前から高速バスに乗って関西国際空港に向かい、そこから出国した。

3時間ほどのフライトで中国青島流亭国際空港へ着いた。大気汚染を心配した家族からマスクを大量に持たされたが、全く必要としなかった。

30日の8時30分からOpening Ceremonyが開催された。最初に西安交通大学・青島R&D研究院所長の Jianxun Zhang (张建勋) 教授の挨拶で始まった(図1)。次にAFMP2015主催者の西安交通大学の Xiaoping Song 教授によるAFMPに関する紹介があり、台湾科技大学の村上理一教授、徳島大学工学部長の河村保彦教授の挨拶が順次行われた。本フォーラムでは、基調講演が3件、

図2 西安交通大学・青島研究院

口頭発表が12件、ポスター発表が15件であった。イオン導電特性を有する軟質ゲル、Cu(InGa)Se₂薄膜センサー、バイオセンサのためのグラフェン電界効果トランジスタ、微生物固定化担体「AQUAPOROUSGEL」などの研究発表があり、コンクリート、高分子、半導体、薄膜、溶接材など建設、化学、電気、機械分野などの多岐の材料に関する研究発表が行われた。好評であったため、来年以降も続けることが宣言された。

31日は西安交通大学・青島研究院の研究施設の見学会があった。施設の外観を図2に示す。広大な建物の中に自動溶接機、アーク溶接シミュレーション練習機、シャルピー衝撃試験機、真空製膜装置、表面改質装置などが設置されていた。これから装置が揃うようであり、建物内は閑散としていた。研究施設の見学後マイクロバスに乗り込み、全長41.58kmの世界最長の水上橋である青島膠州湾大橋を渡ってから解散となった。

図1 オープニングセレモニー

[†] 原稿受理 平成 27 年 6 月 18 日 Received June 18, 2015 ©2015 The Society of Materials Science, Japan

^{*} 正 会 員 徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 〒770-8506 徳島市南常三島町, Institute of Technology and Science, Tokushima University, Minami-josanjima, Tokushima 770-8506.